HANACO
はなこ
HANA COMMUNICATION PAPER
https://www.fukuhana.jp/

2024
1・12
No.60

新年のごあいさつ

代表理事組合長　笠　文樹

謹んで新春の祝詞を申し上げます。

組合員の皆様方におかれましては、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、昨年は花卉農協の経営におきまして、ご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、令和5年を振り返りますと、3月、WBCで侍ジャパンが3大会ぶりの世界一に輝き、9月には日本将棋界では史上初となる全8つのタイトルを獲得した藤井聡太八冠が誕生する等、明るいニュースがありました。

新型コロナウイルス感染症についても、5月に感染症法上の位置づけが季節性インフルエンザなどと同じ5類へと移行しました。その結果、政府から外出自粛要請が解除され、人の動きや経済の動きも活発となり、3年ぶりに日常が戻ってきました。

一方、世界情勢では、2022年2月から続くロシアのウクライナ侵攻はいまだに収束の気配は見えません。10月には新たにパレスチナ地域での紛争も発生し、燃料価格の高騰にさらなる拍車がかかることが懸念されます。

さらに、長期化しているアメリカの金融引き締めによって円安が進行し、食品をはじめ様々な商品の価格上昇が続いており、家計への負担は増す一方となっています。

このような情勢下、花の消費に関しては、行動制限が無くなり外食や旅行など外出関連の出費割合が増加したことで、葬儀、婚礼そして小売業も含め、昨年ほどの勢いはありませんでしたが、コロナ禍以前と比較すると単価高の状態が続きました。

しかし、円安による輸入商材の入荷量減少が続いていることに加え、生産コスト増大による国内の花き生産量の減少が懸念されます。そして、本年4月から自動車運転業務に係る時間外労働の上限規制が厳格になります。規制強化に伴い従来の物流ルートが使えなくなることで、遠方産地からの集荷がさらに困難となることが予想されるため、対策の考案が急務となっています。

このような状況に対し、運送業者との情報共有を行った上で、着荷時間の調整や、新規輸送ルートの模索に着手し、荷揃えの充実と販路の拡大を推し進めてまいります。

また、2024年は静岡県にて浜名湖花博2024が開催され、2027年には神奈川県横浜市において国際園芸博覧会が開催予定となっています。

花卉農協として、福岡県を中心に、花き産業のさらなる発展と、組合員の皆様が安心して花き生産に取り組める環境を整えるべく、適正価格での販売と安定した相場の形成に役職員一丸となって取り組んでまいります。

結びになりますが、皆様方のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、新年のごあいさつと致します。

令和6年　元旦

地方委員研修会を開催しました

令和5年11月10日の金曜日に、オリエンタルホテル福岡博多ステーションにて、令和5年度地方委員研修会を行いました。

当日の参加者は、地方委員より35名、役職員14名、合計49名にて、盛大に開催する事が出来ました。

研修会は、講師にMPSジャパン株式会社、代表取締役の松島義幸氏をお招きし、講演をいただきました。

演題は、『「花き消費動向と今後の生産、流通、小売のロードマップ」～種苗動向、サステナブルな花き生産とは？～物流2024年問題への対応』ということで、花き業界の最新動向を講演いただきました。

消費動向としては、アンケート調査の結果、令和3年以降の直近では「プレゼント用は、3,000円～5,000円の価格帯が増えるとともに、1,500円以下のカジュアルギフトの割合も増加」、「自宅用の花の購入では、500円以下の価格帯が減少し、1,500円～3,000円の割合が急激に増加して全体の27%まで増えた」などの説明がありました。

また、店舗によって「自宅用」「ギフト用」「お供え用」などと購入用途が違う傾向がはっきりと現れており、その中で自宅装飾用（ホームユース）用の花販売について、店舗の実情を交えながら、情報提供をいただきました。

アンケート結果をまとめると、花を買われている消費者は女性と高年齢層が主で、ホームユースの需要を伸ばすことが、消費拡大のカギとなっている。そのため、消費者に安心して買ってもらえるように「日持ち保証」に継続的に取り組む必要があるとのまとめでした。

さらに、流通面では、ヨーロッパを中心に、輸送によるCO2排出量を意識した取り組みが行われているとの説明がありました。CO2排出量の少ない移送手段に（飛行機から鉄道やコンテナ船へ）移行が進んでおり、移動時間の増加を補うための最新低温輸送技術が導入されているとの紹介がありました。

地方委員研修会は、コロナ禍の前は毎年開催しておりました。今回は5年ぶりに開催となり、たくさんの地方委員さんの参加をいただき、無事に終えることができました。今後も組合員皆様と一緒に学び、皆様の営農を支援させていただきたいと思います。

来福者を県産花きでおもてなし

JRグループ6社と福岡県・大分県、地元の事業者が共同で実施する大型観光キャンペーン：デスティネーションキャンペーンが2024年4月1日からスタートします。

「至福の旅！大吉の旅！福岡・大分」をキャッチコピーとしたキャンペーンに先駆けて、県花卉農協は「ふくおかおもてなし宣言団体」として、県内のJRの駅や公共施設にウェルカムフラワーを飾らせていただき、色とりどりの「ふくおかの花」をお楽しみいただきながら、旅行の思い出として記念撮影できるスポットを来福者のみなさまに提供します。

第1回目は、シルバーウィークやお彼岸のある9月に実施しました。福岡花商協同組合青年部様とFlower connect 北九州様にご協力いただき、JR博多駅【9月16日（土）～20日（水）、9月21日（木）～25日（月）】、JR小倉駅【9月21日（木）～25日（月）、9月26日（火）～30日（土）】にフラワーフォトスポットを設置しました。

今後は2024年2月に、JR博多駅、JR小倉駅に加え、JR久留米駅、JR新飯塚駅、大濠テラス（福岡市中央区）、九州芸文館（筑後市）、旧福岡県公会堂貴賓館（福岡市中央区）にフラワーフォトスポットを設置し、1輪花の配布を行う予定です。

小倉駅にて

博多駅にて

いい夫婦の日キャンペーン

10月23日（月）より「いい夫婦の日キャンペーン」をスタートしました。

福岡花市場、北九州花市場では10月23日のセリ前に、福岡花商協同組合様、北九州生花商協同組合様にご協力いただき、買参人のみなさまへ「いい夫婦の日」のキャンペーン参加への呼びかけを行いました。また、買出人のみなさまには「いい夫婦の日」ののぼりやリニューアルしたポスターを場内の仲卸店舗に掲示していただくことでキャンペーンのご案内を行いました。さらに、県花卉農協職員も「いい夫婦の日」の黄色のウインドブレーカーやベスト、缶バッチ等を着用し、キャンペーンの周知に努めました。

福岡市内では、福岡市が展開している「一人一花」運動と連動したイベントを実施。福岡市の7区役所と2出張所で11月22日（水）に婚姻届を提出される方へ、「ふたりにとって、11月22日が花で感謝を伝える記念日になるように」との想いを込めてバラの一輪花をプレゼントしました。今回配布した700本のバラは県花卉農協ばら部会様よりご提供いただきました。また、博多区役所では新たな門出を迎えたおふたりがその記念として写真を撮れるようにとフラワーフォトスポットを設置したほか、無料の似顔絵サービスが実施されました。

今回の「一人一花」運動とのコラボイベントの様子は、FBS福岡放送、TNCテレビ西日本、RKB毎日放送、毎日新聞社の4社で取り上げていただき、より多くの視聴者の方に「いい夫婦の日花贈り日」をPRすることができました。

また、複合商業施設「トリアス」（糟屋郡久山町）とのコラボ企画も実施。10月28日（土）～30日（月）に開催された同施設のイベント「ハロウィンカーニバル2023」での福岡県産の花きを使用したフラワーオブジェの設置や「親子フラワーアレンジメント教室」（28日（土）のみ実施）の開催を通して参加者のみなさまに「いい夫婦の日花贈り日」をご紹介しました。

さらに、ご夫婦もしくは入籍される予定のカップルを対象としたプレゼント企画を実施しました。RKBラジオ「#さえのわっふる」やLOVEFM「スイッチオン！DAY TIME」にご協力いただき、それぞれの番組内でお花を贈りたいパートナーの方へのメッセージを募集し、当選された方にはそのメッセージを添えたミニブーケをプレゼントしました。

ふたりの門出をお花で祝福in博多区役所

営農支援課からのお願い

「購買品売買基本契約書」の更新について

平素より、当花卉農協の購買事業をご利用いただき誠にありがとうございます。

さて、本年度（3月末日）は、「購買品売買基本契約書」の更新時期となっております。契約更新が円滑に進むよう、お早めにご準備をお願い申し上げます。

【問い合わせ先】
▼生産流通部 営農支援課（購買）
電話（直通）092-621-6411

［はなこ］1月号　2024年1月12日　発行
通巻　148号

● 発行・編集
福岡県花卉農業協同組合
〒812-0064
福岡市東区松田1丁目3番20号
TEL：092-621-6767
FAX：092-611-0139
Email:
info-fukuhana@ja.fukuhana.or.jp
https://www.fukuhana.jp

HANACO はなこ